

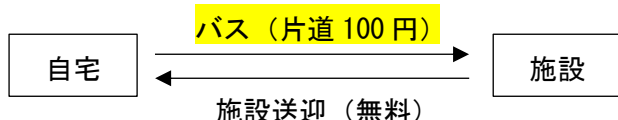
## 自宅から施設までの間で複数の交通手段を利用する場合の単価の考え方

※1か月の上限額は30,000円とする

### 【市内通所】 いずれか月単価の高い方法により算定

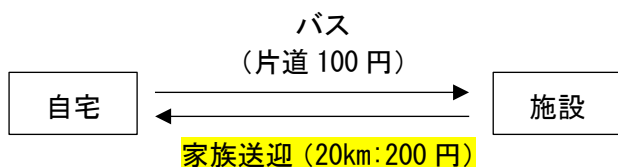
#### <行きと帰りで交通手段が異なる場合>

##### ①行きはバス、帰りは施設送迎を利用



<u>バス</u>	
1日単価	100円 (割引後)
月単価	100円 × 通所日数

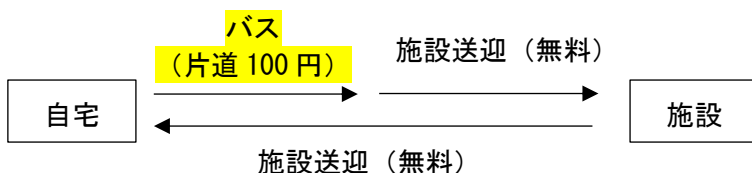
##### ②行きはバス、帰りは家族送迎を利用



<u>家族送迎</u>	
1日単価	200円
月単価	200円 × 通所日数

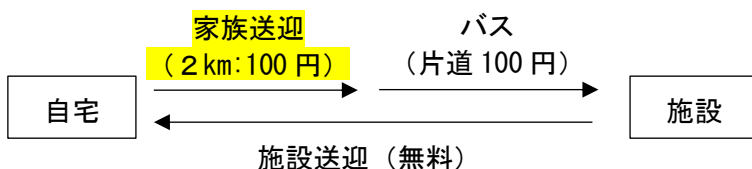
#### <片道で複数の交通手段がある場合>

##### ①行きはバス・施設送迎、帰りは施設送迎



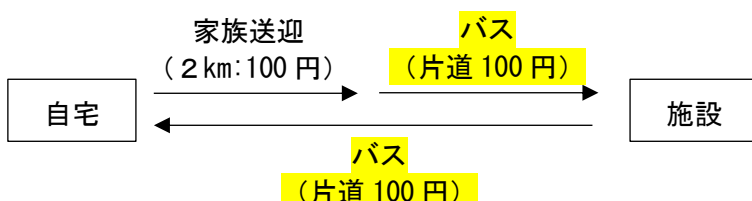
<u>バス</u>	
1日単価	100円 (割引後)
月単価	100円 × 通所日数

##### ②行きは家族送迎・バス、帰りは施設送迎



<u>家族送迎</u>	
1日単価	100円
月単価	100円 × 通所日数

##### ③行きは家族送迎・バス、帰りはバス

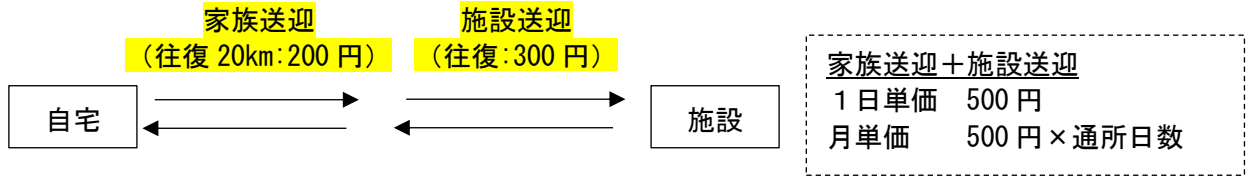


<u>バス</u>	
1日単価	200円 (割引後)
月単価	200円 × 通所日数 (定期額が上限)

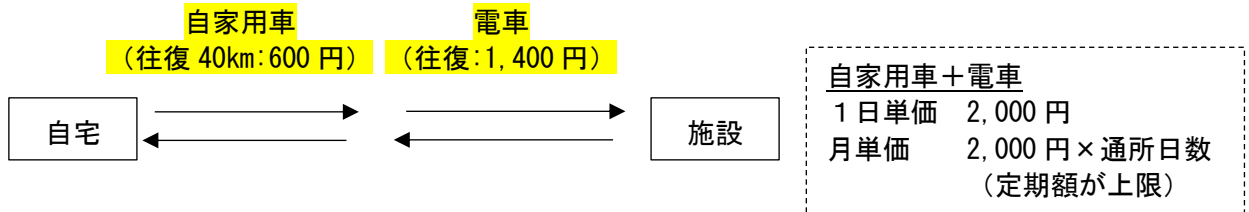
## 【市外通所】

バス・電車と自家用車を併用する場合は、それぞれの単価を合計

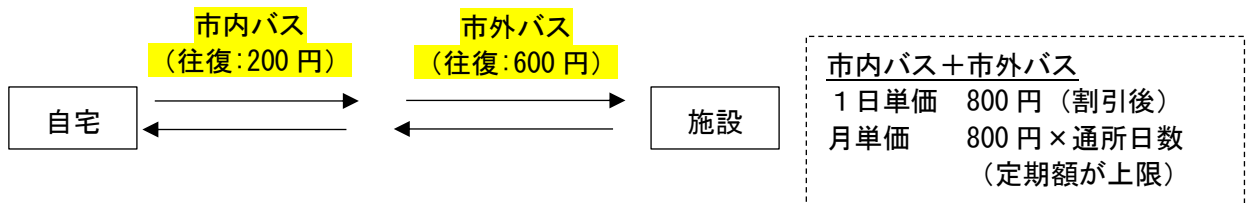
### ① 家族送迎、施設送迎を利用



### ② 自家用車、電車を利用



### ③ 市内バス、市外バスを利用



## 短期入所を利用する場合の通所日数の考え方

(例) 4/2 から 4/5 まで生活介護を利用

うち、4/3 から 4/5 まで短期入所を利用した場合

	往路	日中活動 (生活介護)	復路	通所日数
4/2	○	○	○	○
4/3	○	○		○
4/4		○		—
4/5		○	○	○

**通所日数** 3日とし、1日単価 (往復分) で通所支援金を支給  
 生活介護の利用日数は4日だが、往復とも通所しなかった日は通所日数に含まない。